

同意第1号

山陽小野田市教育委員会の教育長の任命について

下記の者を山陽小野田市教育委員会の教育長に任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

令和8年2月20日提出

山陽小野田市長 藤 田 剛 二

記

住 所 山陽小野田市日の出三丁目2番41号

氏 名 長 友 義 彦

生年月日 昭和40年1月12日

提案理由 長友義彦教育長の任期が令和8年6月8日をもって満了するため

(参 考)

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(組織)

第3条 教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって組織する。ただし、条例で定めるところにより、都道府県若しくは市又は地方公共団体の組合のうち都道府県若しくは市が加入するものの教育委員会にあつては教育長及び5人以上の委員、町村又は地方公共団体の組合のうち町村のみが加入するものの教育委員会にあつては教育長及び2人以上の委員をもって組織することができる。

(任命)

第4条 教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する。

2～5 略

(任期)

第5条 教育長の任期は3年とし、委員の任期は4年とする。ただし、補欠の教育長又は委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 教育長及び委員は、再任されることができる。

○ 現在の委員

長 友 義 彦 (R5.6.9～R8.6.8)

経 歴

現住所 山陽小野田市日の出三丁目2番41号

なが とも よし ひこ
長 友 義 彦

昭和40年1月12日生（61歳）

学 歴

昭和63年3月 広島大学 学校教育学部 卒業
平成14年3月 兵庫教育大学大学院学校教育研究科（修士課程）修了

職 歴

平成元年4月 萩市立椿東小学校
平成3年4月 萩市立大島小学校
平成6年4月 宇部市立恩田小学校
平成9年4月 宇部市立新川小学校
平成12年4月 兵庫教育大学大学院
平成14年4月 宇部市立新川小学校
平成16年4月 宇部市教育委員会事務局学校教育課指導主事
平成19年4月 山陽小野田市立厚狭小学校（教育庁義務教育課厚狭分室充て指導主事）
平成20年4月 教育庁義務教育課管理主事
平成21年4月 教育庁教育政策課主任（文部科学省派遣）
平成22年4月 教育庁教育政策課主任
平成24年4月 下松市立下松小学校教頭
平成26年4月 宇部市教育委員会事務局学校教育課課長補佐

平成 27 年 4 月	山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授
平成 31 年 4 月	柳井市立柳東小学校校長
令和 3 年 4 月	山陽小野田市教育委員会事務局学校教育課長
令和 5 年 6 月	山口県教育庁義務教育課
令和 5 年 6 月	退職

公 職 歴

令和 5 年 6 月

）
現 在 山陽小野田市教育委員会教育長

同意第 1 号参考資料



長 友 義 彦

令和8年（2026年）2月20日

山陽小野田市教育委員会の教育長としての抱負

長 友 義 彦

本市の教育行政に対し、日頃より格別の御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

任期中、一時体調を崩した際にも温かく見守り支えてくださり、皆様のおかげで無事3年間の任期を全うすることができました。心より御礼申し上げます。

これまでの3年間は、「子どもの尊厳を守り安心して学べる環境づくり」を最優先に、教職員の資質向上や現場の慣行見直しに注力いたしました。「楽しい学校づくり」の成果として、令和6年度は不登校数が減少傾向に転じています。また、教育DXを推進し、Google パートナーシップの下、授業でのICT活用や校務支援システムの導入を進め、学びの質と校務効率の両面で成果を上げてまいりました。社会教育の分野でも、オンラインを活用した次世代の図書館づくりや、「二十歳のつどい」における地域連携など、新たなつながりを育む取組を展開してまいりました。

一方で、教育の大きな転換期を迎えている今、取り組むべき課題も様々あります。子どもと向き合う時間を確保するための教員の働き方改革や、施設整備の加速、そして優秀な教員の確保は急務です。また、放課後子ども教室の全市展開や部活動の地域移行など、学校外における「学びと居場所」の充実も強化していかなければなりません。

令和8年4月からは、「第四期教育大綱」、そして「第二期山陽小野田市教育振興基本計画」が始動します。大綱と本計画では、人口減少やAI技術の進展、人生100年時代を見据え、「学びがあふれるまち」を理念に掲げています。①社会の持続的発展に向け学び続ける教育、②地域・家庭で共に学び合う

社会の実現、③Society 5.0に向けた教育DXと質の高い学びの環境整備、④計画の実効性を支える基盤整備、の4つを柱とし、「ひと・こと・もの」とのつながりの中で、自ら課題を解決し未来を創る人を育ててまいります。子どもから大人まで、一人ひとりの意志をもって夢や希望を実現し（Will-being）、生きがいや豊かさを感じる教育を推進する所存です。

これらの目標を達成するため、市長部局や議会との連携を一層密にし、地域・家庭・学校の「つながり」を最大の強みとして、力強く、しなやかな教育行政の舵取りをしてまいります。子ども・大人の笑顔と学びがあふれるまち、「スマイルシティ山陽小野田」を皆様と共に築いていけるよう、全力を尽くしてまいります。